

守ります、利根川！

令和2年河川管理レポート

利根川上流河川事務所では、公物管理を担う立場として、コロナ禍でも感染対策を講じながら、適切な河川管理の取り組みを実施しました。



国土交通省 関東地方整備局

利根川上流河川事務所

すべては、街のため、 人のために。

1
異状がないか
調べます
河川の状態把握

2
河川
維持管理の
仕事

3
発見した異状を
直します
維持管理対策

快適な環境を
保ちます
環境対策・地域連携

利根川の安心・安全を 全力で支えています。

私たち、利根川上流河川事務所職員は、誰もが川とともに
快適に過ごせるよう、河川の維持管理をしていきます。

水害などから暮らしを守るため、
沿川の皆さんの力もお借りして、
自治体や建設業をはじめとする民間企業と協力して、
これからも利根川を守りつづけます。

利根川ってどんな川？

曲がりくねって流れる利根川をまっすぐに伸ばすと、その長さはなんと全国第2位の322km。

流域面積は16,840km²で全国第1位です。

利根川は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県及び東京都の1都5県にまたがります。

流域内人口の約1,309万人は、日本の人口の約1/10となるため、多くの都市用水や

農業用水を供給している利根川は、首都圏さらには日本を支える重要な河川です。

利根川データ

水 源 地:大水上山(標高1,831m) 群馬県利根郡みなかみ町 総 延 長:322km(全国第2位)*
流 域 面 積:16,840km²(全国第1位)
流 域 内 人 口:約1,309万人(調査基準年:平成22年)
河 川 数:822

*利根川上流河川事務所は、このうち約130kmを管理しています。

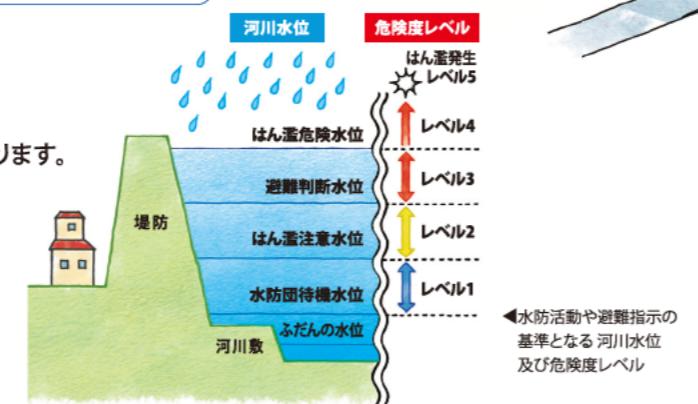
河川の危険な水位は？

大雨や長雨が続くと、河川の水位が上昇し洪水が起こりやすくなります。

お住まいの地域の水防活動や避難指示の基準となる

河川水位や危険度レベルの情報は、「川の防災情報」から

リアルタイムに入手することができます。



1 異状がないか調べます —河川の状態把握—

水害などから暮らしを守るために、毎日のパトロール、堤防・機械・電気施設の点検、雨量や水位の観測などを行って、わずかな異状にも素早く対応しました。



写真1 河川維持管理の基本、パトロール



写真5 機械設備の点検



写真2 堤防除草



写真6 許可工作物の安全性検査



写真3 堤防点検



写真7 雨量・水位観測所の点検

河川維持管理の基本、パトロール 写真1

堤防や河川管理施設などの異状を早期に発見するためのパトロールは、河川維持管理の基本です。令和2年のパトロールでは、6,595件の報告がありました。



堤防を除草して、異状を見逃さない 写真2

堤防点検の前には、異状を発見しやすいように除草を行います。令和2年から、除草回数を年2回から3回に増やし、草丈を短く維持する試行を実施しました。除草した刈草の一部は、堆肥や家畜の肥料などに有効活用しています。



堤防点検で、異状を早期発見 写真3

堤防や河川管理施設に異状がないか発見するため、令和2年度は、1月と2月および6月、10月～12月に実施し、すべての堤防を歩いて点検を行いました。確認した堤防の異状133ヶ所は、さらなる被害にならないために分析・評価をして対策を行いました。



特に多く発見された異状

亀裂	31件
モグラなど小動物の穴	22件
侵食・植生異常	17件
樹木の侵入	14件
護岸の破損	12件



点検したデータはどうやって記録しているの？

全国の河川で実施している堤防点検・パトロールの結果は、データベースシステムで管理しています。発見した異状の写真やデータをタブレット端末に登録して、異状箇所の位置や経年変化を記録して、更なる被害にならないように対策を行います。



危険な場所のチェック 写真4

パトロールで発見した危険な場所は、河川利用者の安全を確保するため危険表示看板や安全柵などの設置を行いました。



機械設備や電気設備などの点検 写真5

水門や警報機器などの機械・電気設備を伴う河川管理施設では、出水時に確実な動作ができるように毎月点検を行っています。点検で確認された異状は、修理や部品交換を行います。



写真5

許可工作物の安全性を検査 写真6

国土交通省関東地方整備局の許可を受けて設置された樋門や運動場のトイレなどが、適切に管理されているか確認するために、各施設の管理者に対して検査を行いました。



写真6

雨量・水位観測所の点検 写真7

流域の雨量や河川の水位などの観測データは、出水時の水防活動や避難指示に活用するため、ライブ映像配信や報道機関への配信データとして、情報提供しています。

(参考)雨量観測所:91ヶ所、水位観測所:13ヶ所

河川ライブ映像

<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/cctv/>

国土交通省関東地方整備局
利根川上流河川事務所 河川ライブ映像

事務所TOP > 防災情報 > 地図選択・ライブカメラ一覧 > ライブ映像表示画面

■ 栗橋水位 ライブ映像

2021/02/09 10:00-09 09:59:38

■ 平常時の画像

■ カメラ位置図

■ 河川名: 河口又は合流点からの距離: 右岸131km

■ カメラ位置図

■ 田中調節池下流 三ツ堰 水位監視 むしご打 水位監視 芽吹橋 下越利根大橋上流

■ 地図データ ©2021 利根川上流河川事務所 地図の権利を保有する

Webサイトもご覧ください

リアルタイム情報
水位・雨量

河川ライブ映像

国土交通省
川の防災情報

無償提供情報
堤防刈草・伐採木配布・
公募伐採



2 発見した異状を直します

—維持管理対策—

パトロールや堤防点検で発見した異状は、降雨や洪水によってさらに大きな被害にならないように適切に補修しました。



亀裂

天端にできる亀裂は、雨水が浸透して堤防が崩れてしまったり、歩行や自転車の走行などを妨げてしまう場合があるため、注入材などで隙間を埋めて補修しました。



小動物の穴

モグラやキツネなどが堤防に巣穴を掘ったり、イノシシが植物を食い荒らす被害が出ています。特にモグラやキツネの巣穴から雨水が浸透して、出水時に堤防が破壊される原因となるため、発見後すぐに巣穴を埋め戻すとともに活動範囲や時期などを調査して、対策を行いました。



陥没

陥没は、モグラ穴が多く点在している法面に雨水が浸透することによって、土が押し流されて空洞が生じて、陥没が発生しました。放置すると堤防が大きく被災する可能性があるため、応急処置を行いました。

写真2



侵食

ゲリラ豪雨などの発生により、天端に溜まった雨水が法面を流下したことによる侵食が発生しました。再発しないように、溜まった水を排水する管の設置とあわせて、法面の補修を行いました。

写真3



不法投棄

パトロールで発見した不法投棄は、撤去後に周辺の除草を行い、再発防止のために警告看板を設置しました。

写真4



ゴミマップ

ゴミマップは、平成15年より「ゴミが不法投棄されている場所がどこなのか」を知つてもらうため、河川環境の意識向上を目的に出張所毎に作成しています。
https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/tonejo_index014.html



3 快適な環境を保ちます

—環境対策・地域連携—

人や動物・植物にとって過ごしやすい自然豊かな環境を守るため、地域と協力しながらさまざまな取り組みを行いました。



写真1 河川清掃



写真3 船上のパトロール

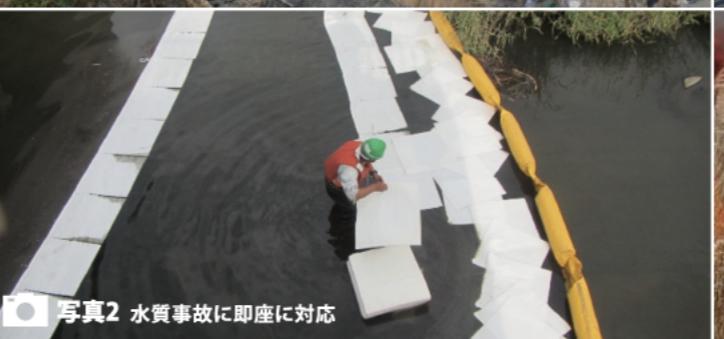


写真2 水質事故に即座に対応



写真4 渡良瀬遊水地のヨシ焼き

河川清掃

令和2年2月14日と18日に開催した水資源機構主催の「サケ稚魚放流会」では、須加小学校の児童たちが参加し、稚魚を放流する前に利根川周辺の清掃を行いました。

写真1



水質事故に即座に対応

令和2年6月に向堀川上流付近で油が流出したため、オイルフェンスで本流への拡散を防ぎ、オイルマットで油を吸着させる処置を行いました。

写真2



船上のパトロール

パトロールは、陸上だけでなく船上からも確認しています。無許可で船を停めている場合は警告し、撤去するよう促したあとに従わない場合は、法制度に従つて強制的に撤去を行うこともあります。

写真3



渡良瀬遊水地のヨシ焼き

令和2年3月21日に実施された渡良瀬遊水地のヨシ焼きは近年、県外各地から観光や写真撮影を目的にお越しになる方が多くなっています。「ヨシ焼き」の効果は、病害虫の駆除のほかに樹林化を防いだり、ヨシだけでなく多くの植物の芽生えを助けながら、豊かな湿地環境を守っています。

写真4



▲伐採した樹木

伐採木無償提供

出水時に水の流れを妨げる樹木は、伐採し無償配布しています。伐採木は、ガーデニングや薪ストーブに使用するなど12月頃から冬場にかけて需要が多くなり、とても好評です。



▲伐採した樹木

災害機械操作講習会

令和2年7月28日に開催された「災害機械操作講習会」では、利根川上流河川事務所職員が排水ポンプ車や照明車の操作手順を学び、実践に備える訓練を行いました。万が一の発生に備えて迅速に対応ができるよう国・自治体が力を合わせて災害に備えます。



▲排水作業訓練

どんな植物が生えている?

平成17年9月12日に日本植物学会で新種として発表された「ワタラセツリフネソウ」は、渡良瀬遊水地に自生し、「ツリフネソウ」とよく似ています。小花弁の特徴が異なるため新種として発表されました。



ワタラセツリフネソウ



河川災害緊急復旧対策

令和元年10月に発生した東日本台風は、利根川でも多くの被害を発生させました。その直後から、堆積した土砂や漂着ゴミの撤去、流れの障害となる樹木の伐採、堤防や観測機器などの施設補修など、河川を適切に管理するためのさまざまな工事を行いました。



河道掘削

土砂の堆積により川の流れが変わると川岸や堤防に影響を及ぼすことがあります。これを防ぐために洪水後に堆積した土砂を撤去（河道掘削）し、適正な川の流れを維持するようにしました。
(利根川左岸182k地点)



樹木伐採

河川敷の樹木は、洪水時に川の流れを阻害し氾濫の危険性を増加させます。河川敷の樹木を伐採することでこれらの危険性を低下させます。
(利根川左岸185k地点)



漂着ゴミの撤去

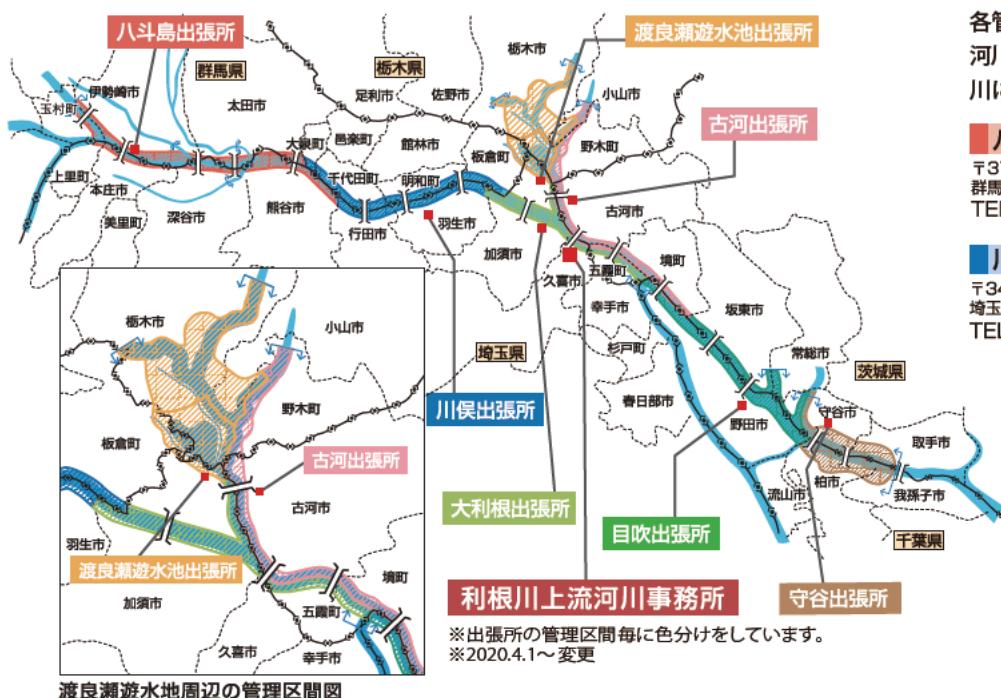
洪水で運ばれたゴミは、良好な河川環境を維持するために、これらを撤去する作業を行いました。
(渡良瀬川右岸4.5k地点)



水位計の補修

水位計は、洪水時に川の水位をリアルタイムで知ることができる大切な施設です。被害が生じた水位計は、次の洪水が発生する前に速やかに補修しました。
(芽吹橋水位計)

出張所のご案内



各管理区間における河川の管理、河川工事の監督、河川巡視、河川利用に関する許可申請窓口、川に関する相談などの窓口



もっと知りたい方はこちらをご覧ください

利根川上流河川事務所
ホームページ



利根川上流河川事務所
携帯電話サイト

利根川上流管内の防災や灾害
に関する情報を提供しています。



利根川上流河川事務所
ツイッター

イベント情報などを発信し
ています。

